

授業改善等に関する報告書（2020年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2020（後期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
給食経営管理 a	山岸 博美	オンデマンドでの授業お疲れさまでした。 自動音声は聞き取りにくいという意見については、改善の必要があることがわかりました。 次年度も給食経営管理論は続きますから、どんどん質問をしてください。
食品加工学 b	守田 和弘	新型コロナウイルスの影響によりオンデマンド型の授業となりましたが、総合的な満足度は全体平均より高いことから、概ね満足して学習いただけたものと思います。
公衆栄養学 a	森川 希	本年度は、試験を除きすべてオンデマンド形式で授業を行いました。可能な限り例年の対面授業に近づけるよう、予習・復習用の穴埋めプリントと法令資料を配布しました。また、manabaのコンテンツを活用し、授業資料(動画、pdf)の配信と、重要な情報源へのリンクを提供しました。また、理解度確認のための課題として、eラーニングシステム(ESS)を導入しました。提供内容については、概ね好評で、「この授業をどれくらいの割合で理解できましたか」の問いに対しては、「十分に理解できた」「ほぼ理解できた」が合わせて約半数であり、例年と同等の結果でした。 動画配信については、原因不明の接続不具合について数件問い合わせがあったほか、通信環境の確保を含めて長時間の動画視聴は難しいといった声がありました。例年通りの対面授業が実施できることを祈るばかりですが、引き続きオンライン授業が必要になった際には、さらなる工夫をしていきたいと思えます。
臨床医学概論	松島 照彦	医学の勉強は新鮮だったようですね。信仰が速すぎたという声も聞かれました。後半はメディア授業でやりにくかったと思えます。新学期の臨床栄養学 a は対面でできると思えます。
ライフステージ栄養学 a	於保 祐子	Zoom での授業でしたので、授業資料と要点まとめのプリントをマナバでも配布して、WEB視聴と机上のノートテイクを併用する事で集中して学修できるように工夫しました。授業録画をGoogle Drive にアップしてオンデマンド受講も可能としました。これらは復習にも使っていただけで学修が深まったようで良かったです。ライフステージ栄養学 b もしっかりと学修してゆきましょう。
食品衛生学実験	井部 明広	対面で授業できたので、実際に手を動かして考えてくれたのは良かったと思っています。 ほとんどの人が理解してくれましたが、レポートをきちんと出すことも大事です。理解をさらに深め、考える力が身につきます。なんでも疑問を持って取り組んでください。
栄養教育論実習 b	辛島 順子	実習では、2年次に学修したライフステージに応じた栄養教育について、実際の栄養教育の場面における計画立案や教育の実施・展開をグループワークを通して学びました。 「ライフステージに応じた栄養教育を考える力をつけることができた」「グループワークやプレゼンテーションを通じて、意見の共有や他者の考えを知ることができた」等のコメントがありましたので、今後も実習の内容は継続していきたいと考えています。 感染予防のため、グループワークへの配慮等が必要となりましたが、みなさんの協力、適切な行動のお陰で例年と変わらない実習内容を行うことができました。
食品学 a	奈良 一寛	授業の理解度を向上させるためにも、予習の課題設定について検討していきたい。
栄養教育各論 b	辛島 順子	栄養教育各論bでは、主に栄養教育マネジメントとライフステージ別の栄養教育を学びました。 アンケート結果から「さまざまな角度から考えられるようになった」「課題を発見する力がついた」等の意見もありました。今後も具体的事例を交えながら講義を進めていきます。 3年次の「栄養教育論実習 b」においては、「栄養教育各論 b」で学んだ内容を中心に実習を行います。これらの学びを統合して、病院や保健所で実施する臨地実習でさらに理解を深めていきます。
特別講義 d	森川 希 佐々木 溪円	個別コメントにもありましたが、この科目の開講時期に行われた模擬試験で、当該科目の成績が伸びる人が多くみられました。この結果は、皆さんが単純に受講するだけでなく、予習復習も重ねて自分の知識や応用力を高めた成果だと思えます。

[2020（後期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
感染と防御	佐々木 溪円	オンデマンド形式と通学機会が少なく図書館の利用機会が限られることで、予習復習時間が少ない人が多くなりました。自分で予習復習をすることで、より深い知見を得られます。次年度の空き時間や他の科目で再度感染症を学ぶ機会に、図書館も活用してみましよう。
栄養教育各論 b	辛島 順子	栄養教育各論bでは、主に栄養教育マネジメントとライフステージ別の栄養教育を学びました。 アンケート結果から「さまざまな角度から考えられるようになった」「課題を発見する力がついた」等の意見もありました。今後も具体的事例を交えながら講義を進めていきます。 3年次の「栄養教育論実習 b」においては、「栄養教育各論 b」で学んだ内容を中心に実習を行います。これらの学びを統合して、病院や保健所で実施する臨地実習でさらに理解を深めていきます。
食事計画演習	山岸 博美	献立作成は難しかったと思いますが、さらに知識や経験を積んで実力をつけていきましょう。
栄養疫学実習	森川 希	毎年、「難しい内容だった」との感想コメントを多くいただく科目です。今年度も同様でしたが、説明がわかりやすかったという回答がやや増えていました。毎年、課題の解説資料をmanabaで配信していましたが、今年度はそれに加えて、Zoomで録画した授業動画を後日視聴できるようにしたことが、改善につながったのかもかもしれません。今後もこれは継続していきたいと思えます。 疫学指標の計算は、手順そのものよりも指標の意味を理解することが最終目標です。全員がもれなく理解できる授業を目指して、今後も課題や配布資料の内容をバージョンアップしていきたいと思えます。
食品学実験 a	奈良 一寛	実験を通して、さらに専門性を活かす学びをしたいという意欲がみられるような内容に充実させていきたい。
特別講義 c	辛島 順子 高橋 加代子	特別講義Cでは、これまでの4年間で学んだ内容のうち、栄養食事指導や栄養管理、栄養教育について重点的に学修する内容としました。 これらは、今後社会で管理栄養士として活動する上で、職種に関わらず、重要な内容となります。 講義全体については、みなさんの評価からおおむね適切であったと判断し、今後も同じ方針で進めていきたいと考えています。 診療報酬や介護報酬をはじめ、管理栄養士に必要なあらゆる知識は、常に更新する必要があります。 今後は、自ら新しい知識や情報を習得し、学び続ける姿勢を大切にしていましよう。
食事計画演習	山岸 博美	献立作成は難しかったと思いますが、さらに知識や経験を積んで実力をつけていきましょう。
総合演習 a	於保 祐子 中村 彰男	4年間の総まとめとして、ヒトの臓器・組織・細胞レベルの機能と栄養素の働きについて総合的に学修しました。多くの知識をただ記憶するだけでなく、いつでも頭の引き出しから出して直ぐ使えるものにするための演習でした。少しでもお役にたてればと思います。
栄養教育総論	辛島 順子	「栄養教育総論」では、管理栄養士が栄養教育を行うさまざまな場や栄養教育を行うための基礎的な知識や態度、スキルについて学びました。 アンケート結果からは「課題レポートを通して、考えをまとめる力や文章で表現する力がついた。」「これまで知らなかった用語などを知ることができた。」といった意見がありました。 2年次からの専門科目でさらに具体的な内容を学ぶ際に、この科目で学んだ内容を思い出し、より深い学びにつなげてください。
公衆衛生学 b	佐々木 溪円	オンデマンド形式と通学機会が少なく図書館の利用機会が限られることで、予習復習時間が少ない人が多くなりました。自分で予習復習をすることで、より深い知見を得られます。次年度の空き時間や公衆栄養学を学ぶ機会に、図書館も活用してみましよう。
特別講義 b	井部 明広 杉山 靖正 中川 裕子	3名の教員による講義で、方法もまちまちでしたが、みなさんよく出席して理解してくれたと思います。国家試験に向けて、また復習してください。

[2020（後期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
栄養教育総論	辛島 順子	「栄養教育総論」では、管理栄養士が栄養教育を行うさまざまな場や栄養教育を行うための基礎的な知識や態度、スキルについて学びました。アンケート結果からは「課題レポートを通して、考えをまとめる力や文章で表現する力がついた。」「これまで知らなかった用語などを知ることができた。」といった意見がありました。2年次からの専門科目でさらに具体的な内容を学ぶ際に、この科目で学んだ内容を思い出し、より深い学びにつなげてください。
給食マネジメント実習	山岸 博美	朝早くからの実習お疲れさまでした。1年間の皆さんの成長は驚くばかりです。次年度の校外実習につなげていきましょう。
基礎調理 1	佐藤 幸子	コロナ対応の実習授業のため、限られた時間での授業でした。しかし、皆さんの実習にたいする姿勢は頼もしい限りです。今はなかなか技術の向上が見えなくても、少しずつ努力していくことが大切です。2年生には「基礎調理 2」があります。毎日、包丁を使って料理を1品作るようにしていきましょう。
食品衛生学 b	井部 明広	ほとんどの人が、期限内に課題のレポートを書いて提出してくれましたが、幾人かは提出が遅れたり、未提出の人がいました。オンラインとはいえ、授業時間に授業に取り組むようにしましょう。授業時間内に取り組んでいた人はいつも10人前後だったのは残念でした。期限ギリギリでは課題レポートの未提出や未完成な形での提出につながります。ただし、ほとんどの人は良く理解している質問をしてくれました。質問も答えを返しましたので是非読んでください。
公衆栄養学実習 a	森川 希	履修者の学習状況、授業内容・方法等は、管理栄養士専攻専門科目区分内で平均的な得点でした。蓄尿による食塩摂取量の測定や、食事調査、地域の健康増進計画の調査など、実践的な内容については好評価でした。今年度は、一部の实習回で、教室受講と遠隔受講を同時に行うことを試みました。教員がもたついてしまうこともありましたが、辛抱強くお付き合いいただき、なんとか進行することができました。遠隔受講の方からも積極的に質問が出て、予想よりも活気のある授業となりました。学生の皆さんのレポートの質が年々向上しているのを感じます。今後も実習内容の改善を重ねていきたいと思ひます。